

2016年2月18日(木) 10:00~11:00 開催

(8複合) IT専門部会 第3回WEBミーティング・メモ

<藤村委員長 MD330 (IT委員長連絡会議世話人)・・・本日の会議テーマ・趣旨の説明>

2月20日開催予定のIT委員長連絡会議において ServannA と MyLCI の問題を討議する予定だが、その議論の土台として、本日のIT専門部会での協議の結果を報告したい。前回のミーティングでの各地区の現状報告、意見・要望を踏まえ、引き続き協議願いたい。

<問題の整理>

1) 国際協会本部の要望・今後の意向の確認

ライオンズ100周年に向けて、MyLCI への4分野のアクティビティ報告を増やしたいが、現状、日本からの報告が少なすぎる。日本では入力に ServannA システムを使っていてこれが原因と思われる。したがって、直接 MyLCI へ会員登録・入退会処理・アクティビティ報告を行うよう、ServannA からの接続を切りたい。

2) 問題点の明確化

<国際協会本部側>

- 1) MyLCI への日本からのアクティビティ報告が少ない。
- 2) MyLCI が日本語への完全対応するにあたって、ServannA との接続のためのAPI開発コスト。

<日本ライオンズ側>

- 1) MyLCI に仕様が変わってから日が浅く、まだ各クラブがよく理解していない。
- 2) MyLCI には、英語表記のままの部分があり、わかりづらい。
- 3) アクティビティ報告が、ServannA と連動していない。
- 4) 準地区キャビネットにおける細かい機能の要望が、MyLCI に反映されるのは困難。

3) MyLCI と ServannA が接続遮断された場合に発生する問題

1. 新入会員登録時に ServannA に登録し MyLCI に登録しないという現象がありうる。
 - MyLCI へ直接会員登録する方法はほぼ全ての地区で未知の作業である。
 - 上記のため、ServannA と MyLCI の会員名簿に差違が発生する。
2. 準地区・複合地区会費請求事務が大幅に遅滞し混乱する。
 - 現在は、ServannA の名簿を元に各地区が日本事務所に依頼し、請求書を発行。
 - MyLCI で現在と同じ会員種別の会費請求書を発行するのは厳しい。
 - 各地区独自に請求書を発行するには、そのための人件費並びにシステムの構築が必須になる。
3. 年次大会や各種セミナー等の出欠登録が WEB で出来なくなる。
 - FAX での登録や新システムの構築にせよ、時間と資金が掛かる。
 - 正しい会員名簿から紹介できるシステムでないともあまり意味がない。

4. クラブ三役名簿やキャビネット構成員名簿等の作成に人手が掛かる。

→現状、ServannA を利用して氏名やクラブ名を打ちこまなくても名簿原稿が出来上がるが、接続が遮断され ServannA の名簿に差違が発生すると混乱が生じる。

<上記を踏まえての提案>

【A案】 ServannA から MyLCI へアクティビティ報告も含めて完全乗り入れ状態に移行する。

→乗り入れのための API の開発を行う。

メリット：各クラブが混乱せずに、MyLCI のアクティビティ報告率も上がる。

(ServannA と同じ報告率となる)

【B案】 MyLCI の会員データを ServannA にダウンロードして、事務局運営のための業務処理を ServannA で行う。

→MyLCI と ServannA に会員データのダウンロードとアップロード機能を追加する。

→MyLCI の会員データを日本が必要な項目に増やし、尚且つ正しい情報に書き換える作業が必要。

(現状の MyLCI の会員データは英文で尚且つ不完全)

デメリット：ServannA、MyLCI の双方に相当の改造を加えなければならない。

会員データの修正を各クラブに行ってもらわねばならない。

【C案】 日本が事務局運営に必要とする機能を MyLCI に実装してもらう。

デメリット：システム開発並びに講習に時間と労力が掛かる。

<本日の合意事項>

1) IT 専門部会としては、データの一元管理という意味から **【A案】** を希望する。

2) 現状の問題点である MyLCI への各クラブのアクティビティ報告（特に4分野）について、各複合地区、準地区とも早急に各クラブに対して啓蒙・指導を行い、国際本部の満足する水準まで持っていく。同時に各地区における MyLCI へのアクティビティ報告の実行度を具体的に確認・検証をして、他地区に報告ができるようデータを入手・整備する。

3) 国際協会 IT 部と早急に WEB 会議を開催し、意見交換する。

2016-2017

第2回複合地区 IT 委員長【ウェブ】連絡会議報告書

◎ 日 時： 2017年2月14日（火）14:00-16:00

◎ 場 所： 各PCから接続

◎ 出席者：

330 複合地区 IT 委員長	神田 信男
331 複合地区 IT 委員長	奥山 壽雄（副世話人）
332 複合地区 IT 委員長	稲岡 敬弘（副世話人）
333 複合地区 IT 委員長	吉原 稔貴（世話人）
334 複合地区 IT 委員長	木村 正明
335 複合地区 IT 委員長	森井 士朗
336 複合地区 IT 委員長	尾崎 博
337 複合地区 IT 委員長	小山 久仁

国際理事	佐藤 宜之
------	-------

ガバナー協議会議長連絡会議世話人	安田 克樹
------------------	-------

IT 専門部会 IT 専門委員(正)

337 複合地区ライオン誌日本語版委員	小柴 登司
ライオン誌 IT アドバイザー	荘 英隆
日本ライオンズ ライオン誌	鈴木 秀晃

◎ 文責者： 複合地区 IT 委員長連絡会議 世話人 吉原 稔貴

◎WEB 会議に先立ち、参加者全員の自己紹介があり、続いて複合地区議長連絡会議世話人・日本ライオンズ理事長（以下「理事長」という）、国際理事から開会のご挨拶があった。

◎複合地区 IT 委員長連絡会議世話人（以下「委員長世話人」という）から「この会議は、第一回会議から現在までの数カ月の間の出来事・情報を、すべての複合地区で共有するために開催する」との挨拶の後、委員長世話人の司会により議事を始めた。

【議題】

1. 「eMMR から MyLCI への移行」に関する国際協会への日本からの要望事項について

「委員長世話人」より、「第一回複合地区 IT 委員長連絡会議、第一回複合地区 IT 専門部会」で出された意見・要望・疑問を踏まえ、佐藤国際理事のリーダーシップの下、国際協会への要望書を取りまとめ、複合地区議長連絡会議の了解を得て、佐藤国際理事より国際協会

に提出した」と経緯を説明。

「資料1A」の「EMMR から MyLCI への移行の為の要望」を、「委員長世話人」が読み上げた。

2. 現在までの「国際協会からの回答」について

「委員長世話人」が「資料2A」の「太平洋アジア課のマーズ・佐子課長」から「佐藤国際理事」に宛てた「回答」を読み上げた。

3. 「MyLCI 移行担当チーム (仮称)」について

議題1、議題2について、佐藤国際理事から経緯と内容について補足説明があり、各複合地区の委員長・専門委員、参加者一人一人から「意見・質問・感想」を述べ、質問について、佐藤国際理事、小柴ライオン誌日本語版委員、荘ライオン誌 IT アドバイザーから回答した。

参加者の感想・意見は、概ね「わずか数カ月で、状況が進んだ。取りまとめてくださった佐藤国際理事に感謝したい」「MyLCI がどうなるのか、まだこれからの交渉にかかっているが、日本語入力・日本語出力など国際協会の回答が、予想を超えてとても前向きで協力的でよかった」とのこと。

【質疑応答】(一部抜粋)

質問「EMMR と MyLCI と並立していくのか？」

国際理事「EMMR も MyLCI も、国際協会・複合地区・準地区にとって必要な情報ではあるが、単一クラブの側の目線では面倒なだけの作業なので、最終的には、一番シンプルなカタチにするのが望ましいと思うが、移行までの期間は、並立せざるを得ないので、単一クラブに MyLCI への接続・アクティビティ報告を広めなければならない」

質問「この要望を実現するのに、どれほどの費用がかかるのか」

国際理事「要望にある MyLCI の改修費用は、国際協会側の負担なので、クラブや地区に負担がかかることはないが、地区によって EMMR の利用状況が異なり、MyLCI の改修でカバーしない付帯機能を、地区が独自に EMMR として存続する場合、その費用は地区の負担となる」

質問「要望を実現するためのタイムテーブルはいかがか？」

国際理事「『回答』にあるように、移行・要望事項の実現に向けて、国際協会側はプロジェクトチームを編成するので、協議・交渉をする窓口として、日本ライオンズ側に移行担当チームを編成してほしいとあるので、議題3・資料2Cにある6名を選出した」

4. 「MyLCI 移行へのアプローチと今後のステップ」について

5. 「今後の eMMR と MyLCI のあり方」についてのイメージ

小柴ライオン誌日本語版委員から「私的には、MyLCI とサバンナの二本立てで、最低限

(主として日本語での入力と日本語でのダウンロード)の機能をMyLCIに追加していけば、残部はサバンナを使用し準地区ごとのレギュレーションに沿った形で運用していくべきだと思う」

「LCIの言う『EMMRは移行の後にも稼働を継続させることは可能です』が気がかりだ。EMMRが継続することにより、少なくとも会員動静(入退会)に関して、MyLCIとサバンナがリアルタイムでリンクできれば、会員数の差異という問題は解消され、各クラブのMyLCIでの報告が必須となるので、一挙両得かと思う」との意見が出され、それを基に、参加者全員の意見・質問を求めた。

【質疑応答の一部】(一部抜粋)

質問「EMMRは移行後も存続していくのか!？」

委員長世話人『『回答』の日本語訳はそうなっているが、英語原文をよく読むと『移行後、ある一定の期間、EMMRを稼働し続けることは可能です』と読み取れるので、これまで通りに稼働できるというのではなくて、経過措置として、しばらくの間は稼働させてもいいということのようだ』

質問「なぜ、国際協会の方針であるMyLCIへの一本化を今すぐにやらないのか？」

複数の回答あり「現在の英語入力・英語出力のMyLCIの機能だけでは、ライオン誌の送付先情報の管理・更新、会費請求等を行うことは困難なので、MyLCIへの移行を可能にするために必要なことをまとめて要望し、よりよいカタチを求めて、これから交渉していく」

「今回の要望事項は、基本的に国内35準地区ごとに異なるEMMR・サバンナの運用状況の中で、35準地区に共通する必要最低限のことをまとめた」

意見・要望「準地区内の単一クラブのMyLCI接続・アクティビティ報告状況は、残念ながら低いレベル。これを上げていかなければならない」「日本国内各準地区ごとの、MyLCI接続状況をまとめた資料があればいただきたい」

最後に、国際理事、理事長から総括をいただき、15時59分に閉会した。

2016-2017 第1回複合地区 IT 専門部会【ウェブ】ミーティング 議事録

開催日時：2016年10月18日（火曜日） 14:00～17:00

参加者： IT 委員長連絡会議世話人： 吉原 稔貴 (MD333)

IT 委員長連絡会議副世話人： 奥山 壽雄 (MD331)

MD330 白井 聡

MD331 牧野 修一

MD332 寒河江潤一

MD333 平野 寛明

MD334 岡崎 栄明

MD335 松村 一男

MD336 長尾 和彦

MD337 高江 康明

ライオン誌日本語版委員会： 小柴 登司

荘 英隆

(以下オブザーバー参加)

複合地区議長連絡会議世話人： 安田 克樹

前 IT 委員長連絡会議世話人・MD330 副専門委員： 藤村 貞夫

サバンナ開発者・前 333-C 地区 IT 委員長： 杉山 民生

日本ライオンズ次長： 濱田 智子

日本ライオンズ (ライオン誌)： 柳瀬 祐子

日本ライオンズ： 高橋 正子

日本ライオンズ： 塩川 美紀

【議題と議事・議決内容】

- 参加複合地区 IT 専門委員・オブザーバーの自己紹介
- 複合地区 IT 委員長連絡会議世話人から「経緯」と「諮問事項」の説明
(複合地区 IT 委員長連絡会議世話人からの説明とウェブ会議の中でなされた討議内容をまとめて、下記に示します)
- 複合地区 IT 専門部会の世話人・副世話人の互選
世話人：MD330 白井聡 副世話人：MD333 平野寛明
- 各複合地区におけるサバンナ・MyLCI の利用状況、接続切断への対応・準備についての報告 (各 IT 専門委員)
- オブザーバーを含めた質疑応答・情報交換
- 今後の日程、「要望」提出の手順について

【これまでの「経緯」と「諮問事項」、「討議内容」について】

1. 昨期、洩れ伝わってきた情報として、「2018年1月からライオン誌の発行がなくなって、WEB版のみになる」といわれていたが・・・

というのは、2018年1月以降も、年に最低4回以上発行されることがほぼ「確実」なのだそうです。

2. 「サバンナは、MyLCIから切り離されて、なくなる」ともいわれていたが・・・

この情報のベースになっていた・・・これまで、私たちが考えていた「サバンナは会員管理システム」「サバンナはアクティビティ管理システム」だという「大前提・基本的認識」が、そもそも間違っていたようです。

現在、サバンナの保守管理の費用は、すべてライオン誌が負担していますが・・・これが、すべての真実を語ってくれていたのです。

つまり、サバンナは、会員情報のみMyLCIに接続・転送・共有しているが、そもそも「ライオン誌の送付先会員情報の収集・管理システム」であり、「ライオン誌の単一クラブのアクティビティ情報の収集・管理システム」であり、「ライオン誌の会員統計作成のための情報収集システム」だということです。

だとすると、サバンナとMyLCIは、本質的な目的・用途が別々で違うので、両者を切断するかどうかを議論すること自体が必要のないことで、前提が違っていただけになります。

すなわち、ライオン誌の紙ベースでの発行・発送が、回数は減っても、2018年1月以降も続く限り、サバンナはなくなるらない・・・といえます。

昨年度の後半、「2018年1月以降、紙ベースのライオン誌がなくなってウェブ版になる」

「2016～2017年度の早い時点、10月頃には、サバンナをなくして、MyLCIに一本化される」という情報が飛び交い、各複合地区・準地区では、対応をどうするかで議論で混乱してきましたが・・・

もし、今の時点で、どこかの地区が「MyLCIだけにして、サバンナをなくす、使わない」ということになると、現在、各クラブがサバンナに打ち込んでいる情報のすべてを、地区ごとに独自にまとめて、毎月、ライオン誌に送らなければならない・・・つまり昔の、紙ベースでの幹事レポートを郵送していた頃のあの作業を、再び準地区ごとに、毎月やらなければならないことになるので・・・

サバンナをなくす、使わないという選択肢は、できなくはないけれど、現状ではきわめて困難ということになります。ところが、それですんなりと、サバンナがなくならなくて「めでたし、めでたし」とはなりません。

3. 国際協会がサバンナと MyLCI をつないでいる eMMR の保守管理をすでに打ち切ってしまった・・・ということ

サバンナが当分の間なくならないことは、ほぼ確実なのですが、国際協会は、MyLCI とサバンナをつないでいる eMMR の保守管理を、すでに打ち切っています。

ということは、遅かれ早かれ、サバンナは MyLCI につなげなくなります。

ですから、私たちはいくつかの対応・対策を考えなければなりません。

※ 国際協会に次のような「日本ライオンズからの要望」を出して、MyLCI を、より使いやすくしてもらおう・・・例えば、

- 会員の氏名・住所等の入力・情報抽出の日本語・漢字標記への対応
- 情報抽出で、地区内クラブの表記順を、アルファベット順ではなくて、リジョン・ゾーンの順番にして欲しいこと
- 日本の代表的アクティビティである「献血量」を、MyLCI では報告できないので、アクティビティ報告で、4大アクティビティ以外に、献血の欄を設けて、報告できるようにして欲しい
- MyLCI の接続は、入力し続けないと、すぐに切断されてしまうが、日本の現状を考えると、もう少し長めにして欲しいこと
- MyLCI とサバンナの接続の切断は、全クラブに通知後、最低でも半年間の準備期間が欲しい
- 国際大会・OSEAL フォーラムの登録を MyLCI 上で、出来るようにして欲しい

というようなことです。ですが、もし、国際協会が日本語・漢字対応をしてくれて、会員名・住所を日本語入力・出力できるようになると、サバンナは必要なくなるかもしれません！？

これ以外に、国際協会に要望・要請したい事項があれば、専門部会世話人までお知らせください。

4. 切断に備えて、どういう具体的対応が必要なのか・・・

国際協会の対応が、上記の要望を満たせない場合、サバンナは、当分の間、存続することになりますが・・・それは、つまり、各クラブに「ダブル入力」徹底していただかなければなりません。そのための具体的対策としては・・・

○ これまでのようにサバンナに打ち込めば、その中の必要情報が、簡単に MyLCI に転送できる「アプリ」を開発する

○ 上記「アプリ」の開発までに時間がかかる場合、地区内に数人程度の「IT サポート相談委員」なるキャビネット構成員等としてご指名いただき・・・複数年度にわたって、単一クラブの会員情報・アクティビティの入力指導・パスワードなどの管理、相談に乗っていただくことにしてはどうか・・・

入力困難なクラブは、入力すべき情報を、「サポート専門委員」に FAX などで送っていただき、入力代行をしたいのですが・・・MyLCI のシステム上、cookie 照合のため、一つのパソコンからは、一つのアカウントしか登録できないのだそうですので、相談委員お一人 1 クラブの入力代行しか出来ない

→ 基本は単一クラブがサバンナと MyLCI の両方に、会員情報を入力しなければならない（ダブル打ち）と思われます。

【今後の日程、「要望」提出の手順について】

「10 月 18 日開催の IT 専門部会」から約 1 ヶ月の期間で、各複合地区の調査・資料取りまとめをしていただき、それらを基に、IT 専門部会世話人・副世話人に「答申案」をおまとめいただき・・・

それをもとに、複合地区 IT 委員長連絡会議を招集して検討し・・・検討・承認された答申案を、八複合議長連絡会の安田世話人に提出し・・・

八複合でまとめられた「要望案」を佐藤国際理事から、国際協会にお伝えいただく・・・というような流れになると思われます。このような手続きの大まかな日程といたしましては・・・

IT 専門部会からの答申案のとりまとめ 11 月末までに IT 専門部会を再び開催し、IT 委員長会議を 12 月上旬に行い、要望案を安田世話人に提出する。

直近の議長連絡会に上程していただき、承認していただけたら、佐藤国際理事国際協会にお伝えいただく・・・順調にいけば、このようになるでしょうか？

以上

Information Technology Manager

Kevin Lin 様

太平洋アジア課 課長

佐子・マーズ 様

国際理事 佐藤宜之（世話人）

国際理事 安井克之

国際理事 中村泰久

MD330 議長 井出 孝

MD331 議長 柏崎昭朗

MD332 議長 柳本英洋

MD333 議長 中嶋正昭

MD334 議長 久野好輝

MD335 議長 神崎 守

MD366 議長 安田克樹

MD337 議長 吉見章一

EMMR から MyLCI へ移行の為の要望

現在日本国内で運用されている会員管理およびアクティビティ管理のシステムと同等の機能を確保するため以下の点を要望する。

各項目の詳細および運用方法に関しては、今後の協議に委ねるものとする。

また本件に関して協議を行う担当部署を本部側にも設置し、迅速な協議が可能となる体制の構築を希望する。

1. 会員情報の日本語入力

MyLCI で管理しているすべての会員情報項目に関して、欧文入力と並行して日本語入力に対応したカラムを追加設定すること。

2. 会員情報の出力

MyLCI で管理している会員情報に関して、全日本・複合地区・準地区・クラブの各レベルにおいて、必要とする情報を MyLCI からダウンロードできる機能の追加設定。ダウンロードする情報は、欧文および日本語の両方とし、統計化に必要なサマリーと個別情報を CSV 等の加工可能な形式でダウンロードを可能とすること。

3. アクティビティ情報の出力

MyLCI で管理しているアクティビティに関して、全日本・複合地区・準地区・クラブの

各レベルにおいて、必要とする情報を MyLCI からダウンロードできる機能の追加設定。ダウンロードする情報は、欧文および日本語の両方とし、統計化に必要なサマリーと個別情報を CSV 等の加工可能な形式でダウンロードを可能とすること。

4. 会員情報に関する項目の新設

日本においては連絡先として事務局が各レベルにおいて存在していることに鑑み、連絡先として「事務局情報」を項目として新設すること。また、会員の特定をしやすくするため「生年月日」を新設すること。

5. eMMR 廃止の時期について

MyLCI の日本語化対応完了後、半年から一年の移行期間を経た後としたい。